

私たちのふるさと鳥川のよさ

福島市立鳥川小学校 六年

私は、この四月に国見町から鳥川小学校に転校してきました。これから私が生活する鳥川は、どんなところなのか、とても興味がありました。

一学期の総合的な学習の時間で、鳥川地区の歴史を調べる「鳥川フィールドワーク」がありました。このフィールドワークでは、鳥川地区にある古い建物や遺跡、道標などの文化財を実際に歩いて訪ね、そして自分の目で確かめるのです。私は、鳥川を知るチャンスだと思いました。

この鳥川フィールドワークの準備を進めるとき、驚くことがありました。それは、クラスの友達の多くがずっと鳥川に住んでいるのにもかかわらず、鳥川のことをよく分かっていないということです。フィールドワークをする前に地図で調べているとき、「佐久間銀行って何?」「成友屋敷ってどこにあるの?」「鳥川に古墳があったの?」などの声が聞こえました。私は、友達が鳥川のことを意外と知らないことに驚きました。

私たちは、鳥川フィールドワークを進めるにあたって、大森に住む野地弘治先生に鳥川地区のことを教えてもらいました。鳥川は、昔は信夫地区の中心で、米沢街道という重要な道路もあったという話を聞きました。また、私たちがかよっている通学路にも遺跡や道標などがたくさんあることがわかりました。それらはだれもがすぐに見ることができるし、見たことがある人もたくさんいます。六年間、学校に行くときに毎日見ている人もいるはずです。でも、気づいていないのです。おそらく、それは文化財として見るのではなく、ただの風景として見ていたのだと思います。鳥川には歴史的な文化財がたくさんあるのです。

そして、実際のフィールドワークを行い、この目でその文化財を見てみました。私たちの班では、「佐久間銀行」や「成友屋敷」などを見に行きました。「佐久間銀行」は、昔、銀行の仕事をしていたところです。また、「成友屋敷」は、成川に住んでいた矢吹友右エ門という地元の名士様の屋敷だそうです。どちらも外観が普通のお家とはちがい、和風のお城みたいでした。屋根や壁が現代とは違っているところなど、改めて気づくことがたくさんありました。これらのお屋敷を見ているだけでとてもおもしろいと思いました。

私は、野地先生のお話を聞いたり、フィールドワークを行ったりしてみて、鳥

川にはたくさんの文化財があることに気づきました。私は、そのことは鳥川のよさだと思います。そして、この鳥川のよさを六年生だけではなく、子どもたちからお年寄りまでぜひ知ってほしいと思います。

そこで、この鳥川のよさを知ってもらうためにはどうすればよいか、私はいくつかの案を考えてみました。

まず、一つ目は「鳥川ウォーキングツアー」です。鳥川の景色を見ながら、遺跡や道標などの文化財を見て歩くのです。野地先生のような歴史に詳しい人に一緒に歩いてもらい説明してもらおうとよいと思います。見て感じるだけではなく、当時の人々の思いや願いなども分かると思います。その際、クイズ形式にしたり、正解するとプレゼントをもらえるようにしたりして工夫すると、どんどんおもしろくなり、参加者も増えると思います。

二つ目は、鳥川パンフレットの作成です。毎年、六年生が総合的な学習の時間で鳥川地区のことを学習するので、学習のまとめとして簡単なパンフレットを作って、信夫支所や信夫学習センターなどに置くことができたらいいなと思います。そうすれば、鳥川の文化財をすぐ見つけられるし、大体の内容をすぐ知ることができると思います。

三つ目は、子どもからお年寄りまでいろいろな世代の人たちとの交流会を開いてはどうかと思います。この鳥川に長く住んでいる大人の人たちをお呼びして、交流の場をつくり、鳥川のことについて話を聞くことができるようにするのです。歴史や遺跡などについて知るだけでなく、地域みんなが仲良くなれるのではないかと思います。

皆さん、私の提案はいかがでしょうか。この提案が一つでも実現すれば、鳥川のよさを多くの人が知ってくれると思います。

最後に皆さんも、ふだんとおっている道ばたや近所の神社、古い建物などを気にして見てはどうでしょうか。そして、自分の住んでいるところが昔はどんな場所だったのか、一度振り返って見るとよいと思います。改めて、鳥川のよさに気づくのではないかと思います。

私は、これから中学生、高校生になっていきます。新しくできた友達に鳥川のよさをしっかり教えたいと思います。